

名称 パワーガードによる木造住宅耐震改修工法

連絡先 株式会社 サカエ

電話 0562-93-1161

技術概要

既存木造住宅の柱と横架材の接合部に設置する摩擦型制震金具。4つの部品から成り立っており、その相互接合部に摩擦パッドを配置。地震力による層間変形角の変化に伴う柱梁接合部の回転により、摩擦パッド及び板バネが変形しながら抵抗することで耐震性能を発揮する。メンテナンスフリー。

技術の特徴

- ・小型・軽量なので施工性に優れる。
- ・取付部位は基本的に天井裏又は床下となるため、意匠上の問題が少ない。
- ・施工の前後に起震機で建物を揺すり、補強工事の効果を施主に伝える。
- ・評価に当たっては、制震効果を考慮せず、強度のみで評価。

公的機関による技術評価 (財) 日本建築防災協会

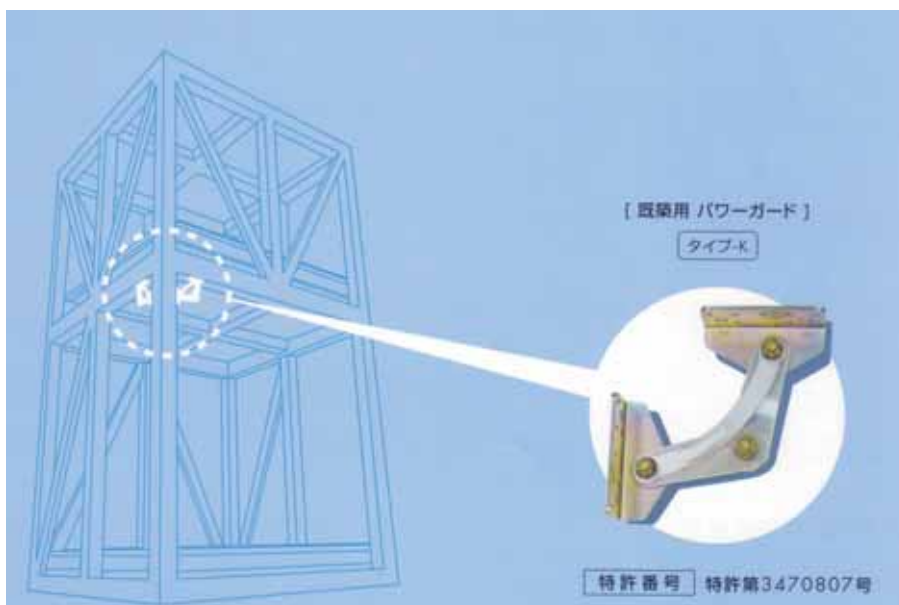
図・写真



柱頭



柱脚



地震の揺れに、**耐震** ガッチリ耐えて、**制震** きっちり吸収。それが、パワーガード。

あなたの住まいに、カンタン施工で、「耐震」&「制震」を手にできる。

耐震の強さ、制震の柔軟さ。その2つのメリットを持つ、最新型の制震装置です。特に地震のときは「制震システム」が強く働き、激しい揺動を木の枝のようになやかに受けとめ、建物内部の揺れを低減。建物の倒壊を防ぐだけでなく、家具が倒れる危険性も少なくさせます。

